



思いを紡ぐ 優しいあおば

あおば支援学校 学校だより 令和4年2月 (第21号)

One for all All for one

副校長 ふじおか あゆみ
藤岡 歩

令和4年がスタートして1ヶ月が経過しました。新型コロナウイルスの感染が再び広がり、まん延防止措置が出される状況で、また安心できない事態となっています。今年度もあと2カ月を切りました。感染予防対策の制約の中でも、これまでの活動を振り返り、自分なりのまとめがしっかりとできるように、学習活動に取り組んでいけたらと思います。

ところで、「One for all All for one」という言葉を知っていますか？自分たちの世代では、「スクールウォーズ」というドラマを思い出す方もいるかもしれません。最近では、ラグビーワールドカップ等の盛り上がりによって注目を集めるようになった言葉として認識している方も多いと思います。ラグビーのチームプレイを表す言葉として認識されていますが、語源はフランスの小説「三銃士」の中で、主人公のダルタニャンと三銃士との誓いの言葉として登場するそうです。元々は「All for one One for all」で登場しているようです。この物語は17世紀、ルイ13世が治世するフランスが舞台。主人公ダルタニャンは都会パリで一旗あげる夢を持って田舎からやってきます。パリでアトス、ポルトス、アラミスという三銃士たちと出会い、4人で大活躍する物語です。映画やアニメにもなっているので、見たことがある方もいらっしゃるのではないかと思います。この「三銃士」のモットーが「All for one One for all」です。いつからか、ひっくり返ってしまったようです。

この「One for all All for one」を訳すときに「ひとはみんなのために、みんなはひとりのために」という意味で捉えている方が多いと思います。歌の歌詞にも使われているので、馴染みの言葉だと思えますが、「One for all All for one」の本来の意味は、少し違うのだそうです。本来の意味は「ひとはみんなのために、みんなは一つの目的のために」になるそうで、英語→日本語への翻訳過程においてニュアンスに違いが生じてしまったようです。

今年度あおば支援学校に着任して、新しい出会いがあり、沢山の出来事がありました。その中で様々なことを学ぶことができました。そして「One for all All for one」という言葉を思い出しました。学校というチームの中で、児童・生徒、保護者の皆様、地域の皆様、教職員、学校を様々な場面で支えている職員、ボランティアの皆様が「ひとはみんなのために、みんなはあおば支援学校を子どもたちにとって最良の学びの場とするために」協力していくことの大切さを実感した一年であったと感じています。今年度もあと2カ月となりました。大変な状況ではありますが、みんなで知恵を出し合い乗り切っていきましょう。

1月18日(火)に、青葉区民文化センター
フィリアホールへ近隣校外学習に行ってきました。
普段は見ることのできない2階の音響
設備やステージ裏・楽屋等の見学、バーカウ
ンターやチケットカウンターでの接客体験、
ステージや客席の利用体験をさせてもらうな
ど、とても楽しく充実した時間を過ごさせて
いただきました。

最後は、ステージ体験でダンス！音響・照
明設備を入れてもらいながら3曲を熱演させ
てもらい、大満足な様子の生徒たちでした。



高B 1年生



小A 3・4年生

2学期最後の授業は、おたのしみ会を
しました。クリスマスということもあり、
みんなでクリスマスツリーの飾り
つけ♪

ツリーを囲んでダンスをしたり、先生
たちのキレキレ(?)ダンスを見たり…
楽しい時間を過ごしました！

12月16日に税理士さんを招いて、お金
や税金について勉強しました。普段みんな
が払っている消費税やその税金の使い道に
ついてみんなで考えました。

現在、中学部1年生では、生活の授業でコ
ンビニへ行き、買い物学習もしているため、
関心をもって、取り組む姿がありました。
授業の後半には1億円の模型も登場し、見
た目の迫力や重さに驚いている様子でした。



中B 1年生